

カーボンブラシの交換要領(ML シリーズモーターの場合)

＜モーター適用機種＞ クリーンバキューム CV-1B, CV-Ⅲ (製造番号下 2 桁が 20～)

CV-1 (6 桁の製造番号で下 4 桁が 7372～), CS-1 (6 桁の製造番号で下 4 桁が 0913～)

＜使用工具＞ ハンダゴテ、プラスドライバー、マイナスドライバー (小)

＜作業内容＞ ※CV-1B での作業例 機種により写真が一部異なりますが、作業内容は同様です。

- ① バキューム本体の電源プラグをコンセントから外し、中の紙パックを取り外します。
- ② バキューム本体をひっくり返し底部を上にしてから、底板のネジ (4 隅の 4 本のみ) を緩めて底板を取り外します。
- ③ モーター端子に接続されている電線を抜き、モーター取付板の外側のネジ 4 本を緩めて、モーターを取出します。
※モーターを取り出さなくても④～⑨の作業は可能です。作業しやすい方で構いません。

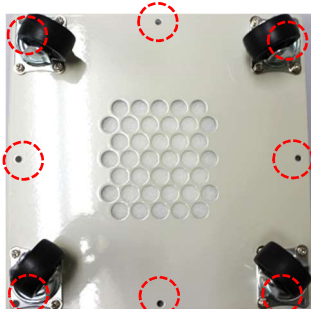


図1 バキューム本体の底板

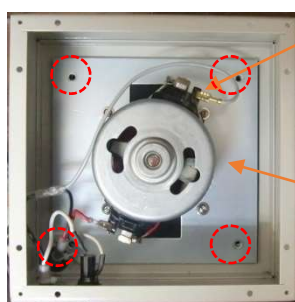


図2 底板を外した状態

モーター端子

モーター取付板

切欠き

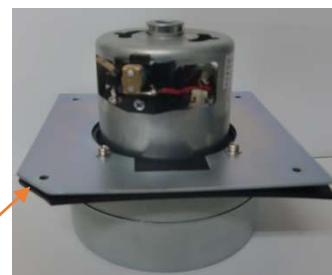


図3 取出したモーター

- ④ ハンダゴテを使い、モーターリード線のハンダ付けを外します。
- ⑤ カーボンブラシを止めているブラシホルダーの爪を、ードドライバー等で起こして、ブラシホルダーの中に入っているカーボンブラシを取り外します。



図4 ハンダ付け部



図5 ブラシホルダーの爪



図6 カーボンブラシ取出し



図7 カーボンブラシ取り外し後

※すり減ったカーボンブラシを取り出した時点で必ず掃除機でブラシホルダー内及びその周辺のブラシのカーボン粉を取り除いてください。

- ⑥ ブラシホルダーに新しいカーボンブラシを奥の方まで押し込み、カーボン部がスムーズにスライドするのを確認してから、トッププレートをブラシホルダーの爪部にはめて爪を折り固定します。
- ⑦ ハンダゴテを使い、モーターリード線のハンダ付けをします。



図8 新しいカーボンブラシの挿入

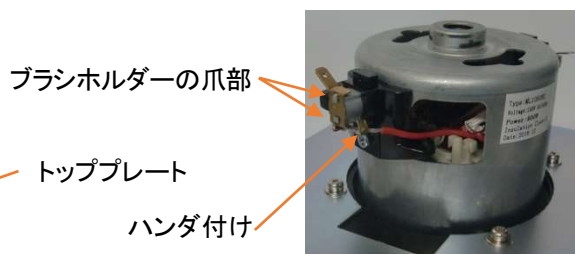


図9 カーボンブラシ交換完了

ブラシホルダーの爪部

トッププレート

ハンダ付け



図10 底板フィルター

- ⑧ もう片方のブラシホルダーに対しても同様にカーボンブラシの交換を行います。
- ⑨ モーター周囲の研磨材、石膏粉等を掃除機で取り除きます。
- ⑩ モーターを本体に取り付けます。切欠き位置の方向は任意です。(モーターを取り出していない場合は省略)
- ⑪ 底板をネジで固定します。

※底板フィルターにカーボンが付着し、黒く汚れている場合はフィルターを交換してください。

- ⑫ 中の紙パックを取り付け、電源プラグを接続します。
- ⑬ 電源を入れ、吸引動作に異常がないことを確認します。